

新型コロナウイルス感染防止のため、本誌掲載のイベント・講座などは、変更・中止する場合があります。

もくじ

えび人 vol.32	02	情報	09
今号の表紙	03	市民の広場	11
HUGHUG子育て	04	ホール・ギャラリー	12
新型コロナウイルス感染防止のため		相談	13
「新しい生活様式」の実践を	07	図書館	14

「広報えびな」の共通マークとルール

日時・日にち 期間 時間 場所 対象 定員
 内容 講師 費用 持ち物 その他 任期
 条件 主催 Eメール ホームページ 問い合わせ
 申し込み 予約制 祝日を除く 休み

 高齢者対象の教室など  えびな健康マイレージ
 2020対象

市外局番…省略している場合はすべて「046」です

市〇〇〇課への郵送…「〇〇〇課へ」とあるものは「〒243-0492勝瀬175-1海老名市〇〇〇課行」と記入してください

市役所開庁時間…省略している場合は原則「平日8時30分～17時15分」

今号の表紙

題字と写真は市民の方の作品を掲載しています。ご協力ありがとうございました。

題字

えびな



優しい人がいっぱいいる海老名が大好きです！
有鹿小学校 池田快都さん(10歳)

写真

タイトル：水辺

撮影場所：水と花と緑のこみち

撮影者：門沢橋在住
清田 博さん



編集雑記

えび人の撮影に訪れた日は、あいにくの空模様。時折小雨がぱらつく中、サツマイモが植えられている畑に近づくと、元気にぴょんぴょんと飛び跳ねる豆粒大の何かが。目を凝らして見ると、たくさんの小さなアマガエルが葉っぱにしがみついていた。そのかわいらしい姿と、土や緑の匂いに癒やされたひと時でした。(瀬)



ふるさとの思い出を子どもたちに

「私が子どもだった頃の望地は30戸くらいの集落だった。昔はわんぱくでね。目久尻川で泳いだり山で木登りしたりして遊んだよ」。昔語りにも顔を緩ませる井上さんは、望地生まれ望地育ちのまさに生き字引。ある時は防犯パトロール隊で子どもたちを見守り、ある時は「どんど焼き」で焼き芋を振る舞って望地の人たちに郷土愛のおすそわけをします。

焼き芋を始めたのは7年前のこと。「みんなで芋を食べながらコミュニケーションを深めるのも良いと思ってね」。焼き芋は自らが育てたサツマイモです。「初めは100個用意したのに半分も余っていた。今では200個でも足りないくらい大勢来てくれて、子どもたちにもだいぶ定着してきたよ」。「新しいことを取り入れながらも昔からの行事を続けてきたのは、子どもたちに望地での思い出を残してあげたいから」。ふるさと望地への思いをせて、井上さんの活動は続きます。



無病息災を願ってお飾りを燃やすす伝統行事「どんど焼き」



芋畑の横に流れる目久尻川。毎年、川沿いを歩き寒川神社まで初詣に

今月のえび人

井上幸雄さん
(望地在住・83歳)

長年望地の地域活動に貢献し、現在は海老名小学校の防犯パトロール隊として活動中。地域への思いや活動の記録をしたためて新聞に投稿することも楽しみ。